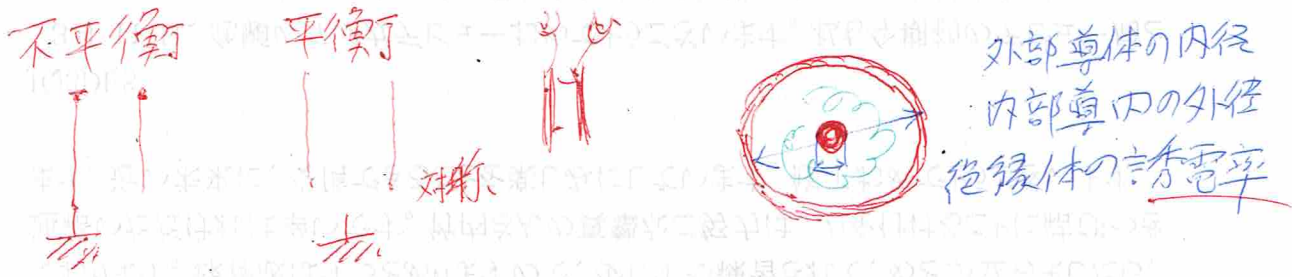


B-3 次の記述は、同軸給電線について述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- (1) 同軸給電線は、**不平衡形** □ア 給電線として広く用いられており、**外部導体** □イ がシールドの役割をするので、平行二線式給電線に比べ放射損が少なく、また、外部からの電磁波の影響を受けにくい。
- (2) 特性インピーダンスは、内部導体の外径、外部導体の □ウ 及び内外導体の間の絶縁物の □エ で決まる。また、周波数が □オ なるほど誘電損が大きくなる。
- 1 内部導体      2 平衡形      3 誘電率      4 外部導体      5 高く  
 6 長さ          7 不平衡形      8 導電率      9 内径          10 低く



同軸給電線は、不平衡形として広く用いられており、外部導体がシールドの役割をするので、平行二線式給電線に比べ放射損が少なく、また、外部からの電磁波の影響を受けにくい。

特性インピーダンスは、内部導体の外径、外部導体の内径及び内外導体の間の絶縁物の誘電率で決まる。また、周波数が高くなるほど誘電損が大きくなる。

同軸給電線は、平衡形として広く用いられており、外部導体がシールドの役割をするので、平行二線式給電線に比べ放射損が少なく、また、外部からの電磁波の影響を受けにくい。

特性インピーダンスは、内部導体の外径、外部導体の内径及び内外導体の間の絶縁物の誘電率で決まる。また、周波数が高くなるほど誘電損が大きくなる。

同軸給電線は、不平衡形として広く用いられており、外部導体がシールドの役割をするので、平行二線式給電線に比べ放射損が少なく、また、外部からの電磁波の影響を受けにくい。

特性インピーダンスは、内部導体の外径、外部導体の内径及び内外導体の間の絶縁物の誘電率で決まる。また、周波数が高くなるほど誘電損が大きくなる。